

水産物来週の見通し（4/19～4/24）

【鮮魚の概要】

日本海方面から本マスの水揚げが増えてきます。4月20日頃から時鮭の漁期が始まります。
日本海、オホーツク方面はかれい類が増え、全体的に価格は弱め。

【主要品目】

鮮マグロ⇒養殖本マグロ主体の入荷ですが、塩釜の延縄本マグロ水揚げあり。価格・品質次第で入荷予定あり。輸入バチマグロ、国産バチマグロ少々入荷予定あり。

ホタテ ⇒道東、噴火湾、オホーツクの3地区での水揚げ。水揚げ数量は多めですが、冷凍の柱と冷凍の両貝が海外からの引き合いが強く、浜高傾向。

ホッキ ⇒胆振、道東からの入荷。数量安定、価格安定。

ウニ ⇒オホーツク海解禁。価格安定。

貝ツブ ⇒広尾、大樹のかご漁が終了。襟裳産がメインになるので、相場は高くなります。ゴールデンウィークまで価格は上昇傾向。

キンキ ⇒根室、日高からの入荷。根室は下げ傾向。数量不安定、価格不安定。

ヒラメ ⇒日本海方面の水揚げが増加傾向。価格は下げ傾向。

毛ガニ ⇒オホーツク北部方面の水揚げが終了。南部からの入荷あり。入荷少なめ、値段上げ傾向。

カレイ ⇒真がれいは日本海中心の入荷。数量、価格ともに安定。
黒がれいは道東中心の入荷。数量、価格ともに安定。

やりいか⇒青森西海岸、松前産棒受けの水揚げが好調で、入荷が多くなりつつある。価格は下げ見込み。

本鱒 ⇒函館、室蘭方面より入荷。数量不安定、価格安定。

アサリ ⇒厚岸、尾岱沼方面からの入荷。数量安定、価格安定。

エビ ⇒ぼたんえびは、日本海、えりも、噴火湾方面からの入荷。噴火湾は水揚げ減少。すべての浜で価格不安定、浜高傾向。
南蛮えびは、羽幌、増毛、余市より入荷。脱皮に入り水揚げ減少。価格下げ傾向。